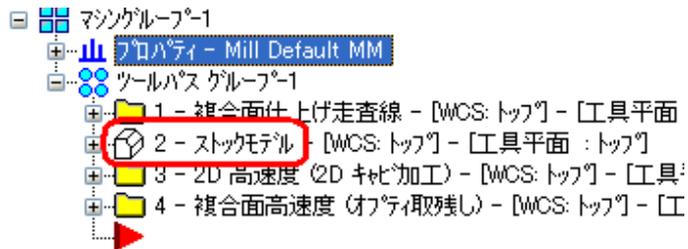


【4-32 / ストックモデル】

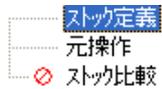
作成したツールパスの切削結果をシミュレーションする機能です。ベリファイと違い、工具の動きは見る事ができませんが、一度ストックを生成すればツールパスマネージャ上で独立した要素として存在し、いつでもそのパラメーターを編集する事ができます。



ストックモデル操作は、一度生成すると次の事に使用できます。

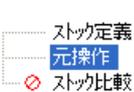
- ・ ベリファイ時のストックとして使用できます。
- ・ 取り残し加工のストックとして定義する事ができます。
- ・ ストックモデルと CAD モデルとの比較を生成する事ができます。

ツールパス⇒ストックモデル



① 加工前のストックを定義します。定義の方法は、P185～189 のベリファイ時のストック設定と同じです。

② 加工した結果を見たいツールパスを選択します(複数可)。



③  OK ボタンを押してストックモデルを生成します。

